



2液弱溶剤フッ素樹脂屋根用遮熱塗料

パラサーモフッ素

【改訂第2版】

信頼と実績を誇る遮熱技術にフッ素樹脂を融合。 最高の耐候性と耐久性を両立した多機能遮熱塗料です。

特長

1 最高の耐候性と耐久性で屋根を守ります。

弱溶剤フッ素樹脂による、高耐候性と高耐久性を兼ね備え、屋根の美観を長期間維持し続けます。

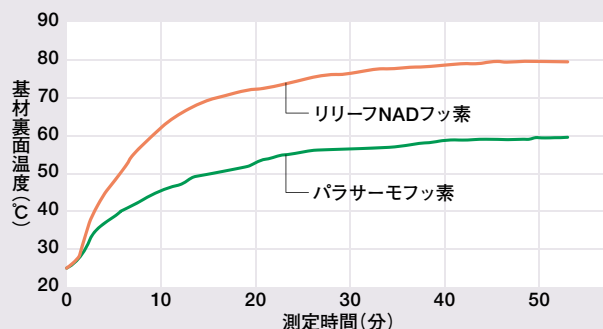
2 優れた遮熱性を発揮します。

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料と熱放射率に優れたセラミックに、当社独自の技術によりフッ素樹脂を融合。各種屋根材に塗装することにより、室内への熱の侵入を遮断し、室内の温度上昇を抑えることができます。エアコンなどの空調設備の省エネ効果に抜群の性能を発揮します。

●**ご注意**：基準色より既存塗膜が淡色系の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

●遮熱試験

厚さ：5mm新生瓦 色相：グレー 300Wレフランプ照射



※パラサーモフッ素とリリーフNADフッ素との瓦裏面温度差は約20℃あります。

用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(新生瓦、厚形スレートなど)
- その他、仮設住宅、プラント、畜舎、車庫などの屋根

標準色 (22色)

- | | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|------------|---------|
| ●ホワイト | ●ベージュ | ●マウスグレー | ●ココナッツ | ●ガーネットレッド* | ●マリンブルー |
| ●ライトグレー | ●ライトグリーン | ●クラウドグレー | ●ブリックレッド | ●チェスナット | ●ディーブルー |
| ●ソフトグレー | ●ライトブルー | ●スレートブラック | ●スレートブラウン | ●グラスグリーン* | |
| ●サンドベージュ | ●グレー | ●ブラック | ●ラシットレッド | ●オリーブ* | |

●色相に関しては「ROOFING COLOR SAMPLE」ニットク屋根用標準色見本帳[遮熱塗料]をご参照ください。

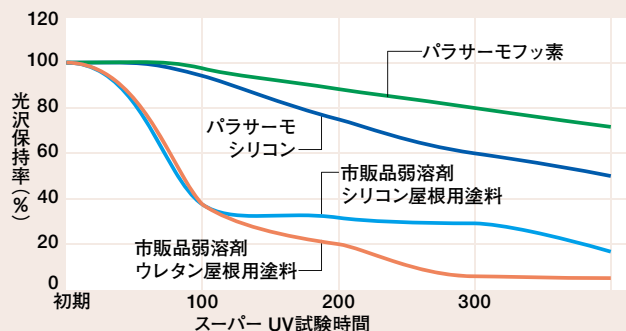
●本製品は特殊な顔料を使用しており、膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。

●パラサーモフッ素は、標準色以外の色相(特注色)に対応可能です。特注色は価格が割高となり、納期がかかる場合がございます。●パラサーモフッ素は、艶調整対応はできません。

●色相により、遮熱効果が異なりますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。 *印の標準色(3色)は割高(2~3割程度)になります。

●各種塗料の促進耐候性比較グラフ

色相：グレー



※促進耐候性試験機(スーパーUV)で耐候性の比較試験を実施しました。
※スーパーUV100時間は屋外曝露約2~4年に相当します。

3 高光沢な色彩で屋根を美しく彩ります。

肉持ち感のある塗膜を形成。光沢のある鮮やかな外観を実現します。また、色彩も豊富にラインアップ。お好みのカラーで屋根を彩ります。

4 さまざまな屋根材に塗装できます。

弱溶剤系のため新規塗装にも塗り替えにも対応します。また、下塗り(プライマー)の選択により多様な屋根材をカバーする高い拡張性を発揮。厚形スレート(セメント瓦)、新生瓦(コロニアル、フルベストなど)、スレート屋根材、折板屋根、ガルバリウム鋼板など、ほとんどの屋根材に塗装が可能です。

※いぶし瓦・陶器瓦への施工はできません。

※スラリー瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)への塗り替えは特殊下地材を使用します。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。

5 防かび・防藻性で美観を維持します。

当社が有する防かび・防藻塗料の配合技術を応用することにより、長期にわたって、かびや藻から屋根を確実に保護します。

標準塗装仕様

●使用量、塗り面積は希釈量(シンナー)を含んでおりません。

工程	材料の調合	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●フクレ、ハガシ、浮きなどの劣化塗膜やサビ、苔類は、ケレン工具を用いて除去してください。 ●表面のゴミ、ホコリなどは、高圧水洗機やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。 						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ●エポラオールプライマー 遮熱ホワイト^{※1} A液……14kg ● // // // B液……2kg ※原液のまま使用してください。	1~2回 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●スプレー 	6時間以内	0.13~0.16	100~123 ㎡/セット	3時間以上 72時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> ●パラサーモフッ素 A液 ……………14kg ● // // B液……………2kg ●NT塗料用シンナーA (ローラー、刷毛)……0~1kg ●NT塗料用シンナーA (スプレー)……………0~2kg 	2回	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●スプレー 	6時間以内	0.12~0.15	106~133 ㎡/セット	2時間以上

※1:「パラサーモフッ素」は遮熱塗料のため、下塗りの「エポラオールプライマー」の色相は「遮熱ホワイト」を推奨します。「エポラオールプライマー」は「グレー」「赤サビ」もご使用いただけます。
 ※2: 吸い込みが激しい場合は、下塗りの塗布量が0.30~0.50kg/m²になる場合があります。
 ●吸い込みが激しい場合は、下塗りに「エポラ浸透遮熱プライマー」を推奨します。また、「エポラマイルドプライマーS」も使用できます。
 ●吸い込みが激しい下地の場合、上塗り1回目目置換泡が発生することがあります、その場合は、上塗り1回目乾燥する前にローラー等で泡消し作業を行なってください。
 ●屋根材の重なり部分は縁切りを行なってください。漏水の原因となります。

構成製品一覧

	下地の種類	製品名	色相	荷姿	塗装方法・(希釈量)	希釈剤	可使時間 (23℃)	施工間隔 (23℃)
下塗り	●窯業系 (スレート屋根、 厚形スレートなど)	エポラオールプライマー	・グレー	16kgセット { A液:14kg B液:2kg }	●ローラー、刷毛、 スプレー …無希釈	—	6時間以内	3時間以上 72時間以内
			・赤サビ ・遮熱ホワイト	4kgセット { A液:3.5kg B液:0.5kg }				
	●窯業系 (スレート屋根、 厚形スレートなど)	エポラマイルドプライマーS	・淡グリーン (カラークリヤー)	16kgセット { A液:14kg B液:2kg }	●ローラー、刷毛、 スプレー …無希釈	—	6時間以内	2時間以上 7日間以内
			・クリヤー	28kgセット { A液:14kg B液:14kg } 14kgセット { A液:7kg B液:7kg }				
	●一般鉄部 ●トタン	エポラ#1遮熱プライマー	・淡ブルー	16kg	●ローラー、刷毛 …(0~1.6kg) ●スプレー …(0.8~2.4kg)	塗料用 シンナーA	—	4時間以上 7日以内
●非鉄金属 (ガルバリウム鋼板、 ステンレス・アルミ ニウム金属、亜鉛 メッキ鋼板など)	エポラ#3プライマー	・ホワイト ・赤サビ	16.5kgセット { A液:15kg B液:1.5kg }	●ローラー、刷毛 …(1.7~2.5kg) ●スプレー …(2.5~3.3kg)	エポラ#3 シンナー	6時間以内	6時間以上 72時間以内	
上塗り		パラサーモフッ素	標準色 (特注色可能) (艶調整不可)	16kgセット { A液:14kg B液:2kg }	●ローラー、刷毛 …(0~1kg) ●スプレー …(0~2kg)	塗料用 シンナーA	6時間以内	2時間以上 72時間以内

●上記の2液塗料は、気温30℃以上で可使時間が極端に短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間」以内に使い切るようにしてください。
 ●「パラサーモフッ素」は、気温が高い夏場の可使時間を遅延するために「猛暑型B液」も設定しています。

施工上の注意事項

●素地調整について

- ① 高圧水洗機やスプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行なってください。
- ② 高圧水洗機で清掃ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、苔類を完全に除去してください。
- ③ 水洗い後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場合

も十分に乾燥してから塗装してください。

- ④ 油が付着している場合は溶剤拭きを行なってください。
- ⑤ サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。

●塗料と塗装について

- ① 仕様に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- ② 屋根表面を水洗いした後雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③ 塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。艶引けや塗膜物性低下の原因になります。
- ④ 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑤ 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑥ 塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。規定配合比で混合されないと、本来の塗膜性能を発現しない場合や、仕上がりが悪くなる場合があります。
- ⑦ 規定の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。
- ⑧ 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- ⑨ 塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラなどの要因となります。
- ⑩ 材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- ⑪ シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れやワレの要因となります。
- ⑫ 塗装方法が混在する場合、使用量、表面肌が異なることで若干の色の差

ができることがあります。

- ⑬ 塗料の希釈でNT塗料用シンナーAを使う場合、他のシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては著しい粘度低下や、本来の色艶がでない場合があります。また、過剰希釈しますと隠蔽不足、色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑭ 溶剤系の塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないようご注意ください。
- ⑮ パラサーモフッ素の各仕様で硬化が不十分な場合に塗装しますとリフティング(塗膜のちぢれ)を起こす場合があります。
- ⑯ 瓦棒や波形トタン屋根などの塗装で山の部分や折り曲げ部分などは塗料がつきにくいので、先に拾い塗りをするなどして全体に均一な膜厚になるよう注意してください。
- ⑰ 屋根材の重なり部分に塗料がたまとると漏水などの原因になりますので、必ず縁切りを行なってください。瓦の上下にすき間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により、漏水や素材の腐食、塗膜剥離、フクレなどの不具合が発生する場合があります。
- ⑱ 塗装機具は使用後速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ⑲ いずれの塗料も粘土瓦への施工はできません。
- ⑳ パラサーモフッ素はカタログの仕様では可使時間が「6時間以内(23℃)」となっておりますが、夏場の暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になることもあります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。

- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能が低下する可能性があります。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

*本記載の仕様は標準仕様です。塗装条件により、施工間隔などは変化します。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- | | | | |
|--------|-----------------------------|----------------|------------------|
| 東京営業所 | 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 | ☎(03)3913-6203 | FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 | 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 | FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 | 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 | ☎(0566)81-8111 | FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 | 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎(06)6386-8492 | FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 | 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 | FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 | 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 | FAX(0942)89-5762 |

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroyo.co.jp/>